

はばたき

2019 秋号 第55号 [通巻第166号]
令和元年11月発行 [季刊]

編集・発行 / 佐世保中央病院 佐世保市大和町15番地 (広報委員会)
TEL 0956-33-7151 FAX 0956-33-8557 E-mail sch@hakujujikai.or.jp
佐世保中央病院ホームページ <http://www.hakujujikai.or.jp/chuo/>



- ① 新任Dr.の紹介
白十字会グループ合同慰霊祭開催報告
- ② 大規模災害訓練実施
- ③④ 市民公開講座開催報告
- ⑤ ICLSコース開催報告
- ⑥ 患者さんの声
- ⑦ 外来診療担当表





新任Dr.の紹介

- ①診療科
- ②出身大学
- ③卒業年
- ④出身医局
- ⑤医師を志したきっかけを教えてください。また、この科を選んだのはなぜですか？
- ⑥趣味、または特技を教えてください。
- ⑦自己PRをお願いします。
- ⑧患者さんへひと言お願いいたします。
- ⑨地域医療機関の先生方へ向けて、ひと言お願いいたします。



たおもと りょうた
埜本 僚太

- ① 脳神経外科(常勤)
- ② 福岡大学
- ③ 平成28年卒
- ④ 福岡大学
脳神経外科

- ⑤ テレビで外科医特集を見たのがきっかけです。脳外科の手術に魅力を感じたから。
- ⑥ テニス、ゴルフ
- ⑦ 佐世保の医療に貢献できるよう、日々精進していきます。
- ⑧ 丁寧な診療を心掛けています。どうぞよろしくお願いいたします。
- ⑨ 脳神経外科の埜本です。若輩者ではありますが、地域にも貢献できるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



もとやま かずき
本山 和樹

- ① 研修医
- ② 長崎大学
- ③ 平成29年卒

- ⑤ 自分自身や家族の病気・怪我の経験から医学に興味を持ったのがきっかけです。
- ⑥ 映画鑑賞
- ⑦ 今は見る影もなく、体力にも自信はありませんが、小さい頃から大学でフェードアウトするまで空手をやっていました。
- ⑧ 至らないなりに、日々成長できるよう、先生方からだけでなく患者様からも学ばせていただこうと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
- ⑨ 患者さんの紹介等でお世話になることも多いと思います。患者さんのためにもしっかりと情報提供できるように頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



白十字会グループ合同慰霊祭

令和元年9月7日にアルカスSASEBO中ホールにおいて、白十字会グループ合同慰霊祭を執り行いました。平成30年6月から令和元年5月までの1年間に亡くなられた方は、当法人グループ全体で662名いらっしゃいました。ご遺族の皆様へご案内申し上げましたところ、120名を超える方にご参列いただきました。慰霊祭は黙禱に始まり、故人に思いを馳せながら献花を行った後、佐世保市民管弦楽団による献奏が行われ、参加者の皆様は時折涙ぐみ聞き入っていらっしゃいました。

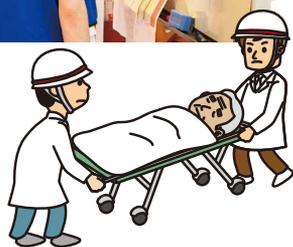
貴重なお時間をいただき合同慰霊祭に参席頂きましたご遺族の皆様に対し、心より感謝申し上げます。また、この慰霊祭を開催するに当たり、多死社会とも言われる昨今の日本において、多くの患者・利用者様が当法人の施設で人生の最期を過ごされたことをあらためて実感いたしました。ご利用いただく皆様から安心され、信頼される病院・施設作りに精進を惜しまぬことを職員一同、深く心に刻む時間となりました。



大規模災害訓練を行いました

令和元年10月25日(金)、当院において大規模災害訓練を実施しました。今回は「西九州自動車道天神山トンネルにて多重衝突事故発生」という想定で、医師・看護師などさまざまな医療スタッフが情報共有や協力を行いながら、模擬患者の受け入れ訓練を行いました。

重症から軽傷までさまざまな傷病をもつ患者さんが多く搬送される中、正確な情報共有を医療スタッフ内で共有することは重要です。昨今では、自動車事故などに限らず、甚大な被害をもたらす自然災害などが発生しています。そのような中で、私たちは医療で地域に貢献できるよう日頃から訓練を実施し、いざというときのために対応できるように備えていきます。



第7回

佐世保中央病院 市民公開講座を開催しました

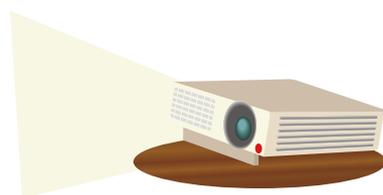
令和元年9月1日(日)にアルカス SASEBO・中ホールにおいて市民公開講座を開催しました。

メインテーマは「しっかり学ぼう! 糖尿病と心臓・血管病のお話」としました。これまでのアンケートの結果やさまざまなご要望を参考にして、みなさんの関心も高いと思われる「糖尿病」を取り上げ、さらにこの病気が心臓や血管にどのような影響をもたらすかについて講演しました。当院には、糖尿病を専門に治療を行う「糖尿病センター」を開設しています。その糖尿病センターの専門医をはじめ、心臓の専門医である「循環器内科」および「心臓血管外科」の3つの領域から講演を行いました。

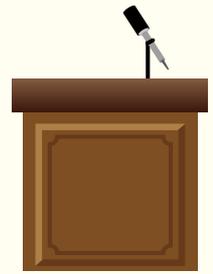


講演の後には、当院の看護師による相談コーナーや超音波検査のデモンストレーションなどを実施し、病気に関する情報提供を行いました。

毎年開催しているこの講座は、市民のみなさまに病気やその治療に関する情報提供を行うことを目的としています。これからも地域医療にさまざまな形で寄与できるよう努めていきます。



認知症疾患医療センター 市民公開講座を開催しました



令和元年9月8日(日)アルカスSASEBO・中ホールにおいて当院認知症疾患医療センター主催の市民公開講座を開催しました。

認知症疾患医療センターは、今年で開設10周年を迎えました。今回は周年記念として、一般社団法人日本認知症予防学会副理事長でもあられる医療法人ふらて会西野病院(福岡県北九州市八幡東区)の西野憲史理事長をお招きして、少子高齢化の進展と認知症予防の可能性についてご講演をいただきました。近年、認知症患者が増加する予測が立つ我が国では、認知症に対する注目も非常に高くなっており、今回の講座においても多くの市民の方にご参加いただきました。講座の中には、地域で認知症予防に取り組まれている団体の代表者による活動発表もあり、来場していただいたみなさまに認知症予防の知識を広める機会になりました。ご参加いただき誠にありがとうございました。



ICLSコースを開催しました



令和元年8月10日(土)、当院にて「日本救急医学会認定・第3回佐世保中央病院ICLSコース」を開催しました。「ICLS」とは「Immediate Cardiac Life Support」の頭文字を取った略語であり、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。突然の心停止に出会った時にどのように対処すべきか、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としています。

今回は院外より3名のインストラクター(医師)を迎え、6名の当院看護師がコースを受講しました。また、同コースを受講済の当院看護師が6名、運営をサポートするアシスタントインストラクターとして参加しました。

医療機関においては患者さんの不測の事態にいつ、何時遭遇するか分かりません。また、日常生活でもそのような事態に遭遇するかもしれません。その際は迅速な蘇生処置が必要となります。当日は様々な設定のシミュレーション実習を幾度も繰り返し、必要な技術の習得に力を入れました。



患者さんの命を救うためには、医師のみならずあらゆる医療者が全力を尽くす必要があります。今回の実習がチーム医療の一助となれば幸いです。



患者さんの声 ～ご意見箱より～



「一部、待合の照明が暗い。すき間風が冷たい。」に係るご意見について

「一部、外来待合の照明が暗く憂うつになる。」「すき間風が冷たい。」とのご意見いただきお詫び申し上げます。

ご指摘いただいた外来待合の一部には、エレベーターおよび階段付近に位置しており、他の診療科の待合に比べ、照明が暗かったり、寒く感じたりするものと思われます。

ご指摘いただいたご意見をもとに、一部待合の照明を変更いたしました。その他にもご迷惑をお掛けしている場所があるかと思いますが、みなさまのご意見を参考に対応を検討してまいります。

現在のところ、ご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

入院患者さんの肉料理について

「家族が入院しており、肉料理の時、『臭い消しがなされていない』『生臭い』と言っております。一度ご検討をお願いします。」とのご意見をいただきました。

現在、肉料理の際には、軟らかく仕上げることと、お肉の臭みを軽減することを目的に、専用の酵素に付け込んだ後に調理しています。

今回ご指摘のありましたメニュー・肉の種類について今後調理工程の中で見直しや工夫できる部分がないか検討して参りたいと考えています。貴重なご意見ありがとうございました。

「医師や医療スタッフの方々が親切で丁寧な対応をしていただいた。」とお褒めの言葉をいただきました。

「手術前・手術後、不安なく治療が受けられるようあたたかく丁寧な言葉をかけていただいた。」「病状についての的確でわかりやすい説明をしていただいた。」というお言葉をいただきました。

この度は、お褒めの言葉をいただき、誠にありがとうございます。いただいたお言葉は、職員一同で嬉しく受け止めさせていただきます。今後においても常に現状に満足せず、患者さんや利用者さんにご満足いただける施設環境や療養環境の整備に努めて参ります。

